

city & life

都市のしくみとくらし

no.100

summer

2011

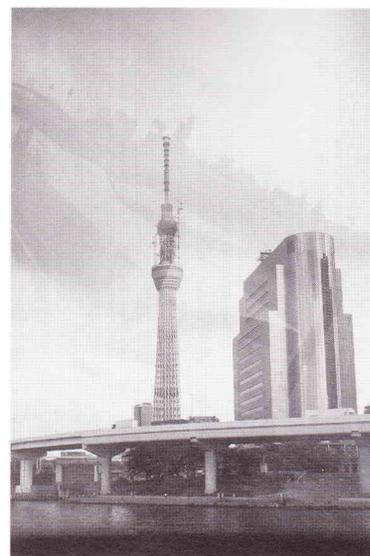


特集

21世紀のまちづくり「情報革命が、都市をどう変えようとしているのか」

city&life誌をご愛読いただき、誠にありがとうございます。
 本誌はお陰様で創刊100号を迎えることが出来ました。
 これもひとえに読者各位のご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。
 100号の節目に、本誌のデータarchivesを制作いたしました。
 ご登場いただいた方々や取材先エリアなど、可能な限り
 掲載いたしました。ご参考にしていただければ幸いです。
 当財団は4月1日に一般財団への移行を完了すると同時に、
 名称を「一般財団法人 都市のしくみとくらし研究所」に変更し、
 新たなスタートを切ったところです。
 これからも、都市の仕組みと暮らしについての
 総合的な提案をすることにより、健康で豊かな住生活の向上と
 社会公共の福祉に寄与するという、財団の事業目的に合う
 紙面づくりを進めて参りたいと存じます。
 引き続きご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

一般財団法人 都市のしくみとくらし研究所



表紙——「Cityscapes behind a large glass No.1」

裏表紙——「Cityscapes behind a large glass No.3」

photo:新井卓

特集

21世紀のまちづくり「情報革命が、都市をどう変えようとしているのか」

contents	巻頭インタビュー ポスト工業社会と都市のイメージ 日端康雄 2
	鼎談① 超情報化社会の到来、都市はどう変わっていくのか 日端康雄×熊坂賢次×赤松正行 6
	鼎談② ソーシャルネットワークは都市を開くのか、閉じるのか 鈴木謙介×南後由和×濱野智史 12
	インタビュー スローネットから考える、ひと・まち・くらし 西垣 通 20
	綴じ込み付録 city&life archives <No.1-99>
	Back Number 1
	Index 6
	「都市を拓いた人々」Map 10
	エリアスタディ・リスト 11
	建築／リノベーション／ランドスケープ・リスト 13
	information 25



21世紀のまちづくり 「情報革命が、都市をどう 変えようとしているのか」

特集

1990年代初頭のバブル経済崩壊は、単なる景気変動のサイクル現象ではなく、20世紀の近代工業社会の終焉を告げる文明的な大事件でした。これをポスト工業社会への転換、ポストモダン社会の到来と捉えた時、それは都市において、どのような意味をもつのでしょうか。一方、80年代に急速に進展した情報技術は、ネットワーク・システムという新たな位相を生み出しました。政治も経済も情報ネットワークの中に生息する「超情報化社会」が出現したのです。情報ネットワークは、今や何より重要な都市のインフラストラクチャーの一つです。今日の情報革命の意味と影響について考え、超情報社会の中で大きく変わる都市像、都市の概念について検討します。

photo:新井 卓「Cityscapes behind a large glass No.2」